

翔生

(しょうせい)

Symbol Logomark これまで各地商工会議所で使用されている商工会議所マークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染み易いロゴマークとなっています。ロゴは、商工会議所青年部の英語名(Young



発行 全国商工会議所青年部連合会
 東京都千代田区丸の内3-2-2
 日本商工会議所中小企業振興部内
 ☎03-3283-7847
 編集 広報委員会

平成7年
 (1995年)
3月1日号
 通巻 第18号
 (年2回 3月・11月発行)

Entrepreneurs Group)の頭文字をとったのですが、同時に商工会議所青年部の持つコンセプト(若さ、情熱、広い視野をもった経営者= Youth, Energy, Generalist)を表しています。

ご・あ・い・さ・つ

行動こそ、YEGの使命

日本商工会議所

会頭 稲葉興作



のメドもたっていない状況に大変心を痛めているところであります。

重要課題が山積してまいります。青年部活動に対する期待と評価が年々高まるなかで、現在512商工会議所のうち397カ所に青年部が設置され、全国で約3万人のYEGメンバーが次代を担うリーダーとして活躍しております。平成7年度におきましては、辻新会長を中心とする全国に広がるネットワークを十分に活用し、積極的な商青連事業の展開を通じて、全国各地の青年部活動の支援に大いに成果を挙げられますようご期待申し上げます。

全国各地の青年部の皆様方には、日頃から地域を支える青年経済人として熱意と使命感をもって商工会議所活動にご参画いただいております。厚くお礼申し上げます。わが国は現在、戦後2番目の長期不況から徐々に回復

に向けて動き出し、今年、新しい年を迎えて、今年こそは経済の活性化を図ろうと決意を固めていた矢先、このたびの兵庫県南部地震が発生し、神戸市をはじめとする阪神地域に壊滅的打撃を与えました。その復興

に向けて動き出し、今年、新しい年を迎えて、今年こそは経済の活性化を図ろうと決意を固めていた矢先、このたびの兵庫県南部地震が発生し、神戸市をはじめとする阪神地域に壊滅的打撃を与えました。その復興

環境は内外ともに大変厳しいものと存じます。さて、ご承知のように、わが国経済社会を取り巻く環境は内外ともに大変厳しいものと存じます。

築こう、YEG連携軸

平成7年度商青連

会長 辻

正敏



またたいて、日本を、私たちを、考えて、変えていくことが必要です。勇気をもって大胆に、思い切った断りに。これは、経済人である私たちの手で新しいシステム、枠組みを産み出していく時が来たのです。いよいよYEG(商工会議所青年部)の出すことの出発点ではないか。将来のために、21世紀に生きるために、そして次代を担う私たちの子孫のために、しかし、いくら考えても「考え」のメカニズムは同じではないのでしょうか。ただ、今は、もっと大きな視野で、地球とか世界とかを踏

です。活動は既に実績となり、その実績は、今後ますますYEGの活動にとって重要なものとなることを確信します。私たちは、出会うを求め、いろいろな所へ出掛け、交流を深めてきました。これからは、自分たちの実績に誇りをもち、より広く発信し、受信し、他と手を結んでいかなければなりません。出会いから交流。交流から連携です。そして更に大きな、地域の新しい動きも産み出す独自の人的経済的連携体系「YEG連携軸」を築き上

げることです。時代を切り拓くキーワードは広い視野に立った連携なのです。人にはいつも、思いがあります。その実現に向かつて研鑽してきた私たちが、更に感性を研ぎ澄まし、信念を持ち、自律した行動を起こす時、時代は拓かれると信じます。「YEG」腕の見せどころ、それは、今です。

変革や混迷・不透明が耳慣れた言葉となり、不信や不安という空気が私たちに覆うようになってきた。時間が経過してか、いろいろなことを考えられました。新しいシステムはないか、先をもっと見通

すことの出発点ではないか。将来のために、21世紀に生きるために、そして次代を担う私たちの子孫のために、しかし、いくら考えても「考え」のメカニズムは同じではないのでしょうか。ただ、今は、もっと大きな視野で、地球とか世界とかを踏

またたいて、日本を、私たちを、考えて、変えていくことが必要です。勇気をもって大胆に、思い切った断りに。これは、経済人である私たちの手で新しいシステム、枠組みを産み出していく時が来たのです。いよいよYEG(商工会議所青年部)の出すことの出発点ではないか。将来のために、21世紀に生きるために、そして次代を担う私たちの子孫のために、しかし、いくら考えても「考え」のメカニズムは同じではないのでしょうか。ただ、今は、もっと大きな視野で、地球とか世界とかを踏

です。活動は既に実績となり、その実績は、今後ますますYEGの活動にとって重要なものとなることを確信します。私たちは、出会うを求め、いろいろな所へ出掛け、交流を深めてきました。これからは、自分たちの実績に誇りをもち、より広く発信し、受信し、他と手を結んでいかなければなりません。出会いから交流。交流から連携です。そして更に大きな、地域の新しい動きも産み出す独自の人的経済的連携体系「YEG連携軸」を築き上

げることです。時代を切り拓くキーワードは広い視野に立った連携なのです。人にはいつも、思いがあります。その実現に向かつて研鑽してきた私たちが、更に感性を研ぎ澄まし、信念を持ち、自律した行動を起こす時、時代は拓かれると信じます。「YEG」腕の見せどころ、それは、今です。

平成7年度商青連役員

(敬称略)

商青連役員		青年部(県名)	
氏名	津	青年部	(県名)
会 長	辻 正敏	長崎	(長崎)
副会長	賢木 新悦	秋田	(秋田)
専務理事	石原 将宏	新宮	(和歌山)
プロック代表理事	仁志 万紀	奄美大島	(鹿児島)
	佐藤 英一	徳島	(徳島)
	阿部 和夫	伊万里	(佐賀)
	三浦 光博	美幌	(北海道)
	古泉 幸一	八幡	(青森)
	平田 利久	美郷	(岩手)
	山崎 宗夫	美郷	(宮城)
	野沢 豊輔	湯沢	(秋田)
	伊勢崎 伊勢崎	いわき	(福島)
	大村 晴利	亀田	(新潟)
	市村 日出夫	松任	(石川)
	長谷川 義信	厚木	(神奈川)
	北川 善信	武生	(福井)
	津田 純一	京都	(京都)
	岡井 孝徳	赤穂	(兵庫)
	門 幸徳	新宮	(和歌山)
	阿部 一日	倉吉	(鳥取)
	津国 昭夫	丸亀	(岡山)
	溝田 裕司	丸亀	(岡山)
	野村 忠秀	中村	(愛媛)
	橋本 安彦	伊万里	(佐賀)
	松尾 和彦	長崎	(長崎)
	井口 正祐	小分	(小分)
	川本 祐之介	大分	(大分)
	河井 達志	鹿児島	(鹿児島)
	高良 直宏	沖繩	(沖縄)
監事		尾鷹	(三重)
直前会長	佐藤 善三郎	山形	(山形)
	伊藤 幹雄	清水	(静岡)

初の女性研修も開催！ 震災乗り越え、京都で中央研修会

第12回商青連中央研修会が、厳冬の2月、当地京都にて開催させていただきました。全国1064名に及ぶご参加を頂き、無事終了いたしました。本にご参加頂いた方には、何かと当方の不手際もあるなか、ご協力を賜り衷心より御礼申し上げます。

時あたかも、関西では戦後最大級の阪神大震災が発生し、一時は開催も危ぶまれましたが、被災地への熱きエールを込めての開催でした。復旧には幾多の困難と問題があるかと予想されますが、微力ながら、我々京都YEGも近隣にあつて

今後支援をして参りたいと決意しております。さて、今回の中央研修会では地域経済を担うリーダーとしての資質の向上と、意識の高揚を図る場を提供し、如何におもてなしの心で迎えていただけるか、京都のスタッフと、商青連の研修委員会の方と、考えて参りました。主幹という立場をわきまえないながらも、京都流のもてなしをおりこませて頂いた事に感謝の気持ちで一杯です。

交流と連携をテーマに佐藤会長の基調講演、田中先生の講演。そして、パネルディスカッション、分科会を行いました。この2日間の研修が、これからの一年間の青年部活動の方向づけに役にたてて頂ける事をただ願う次第です。又、交流会では京都という地域を少しでも味わって頂けるはずと致しました。そして、京都YEGもこうした準備を進める中、全国との交流と連携を感じ、又一步京都YEGのメンバーの連携と、組織力のパワーアップが築けたと確信しております。同時に、各委員会のスタッフの皆様には心より御礼申し上げます。

最後に、本研修会にご協力いただいた京都府連をはじめ

関係各位の皆様方に、感謝申し上げますとともに、厚く御礼申し上げます。有難うございました。(実行委員長・石原義清)



長崎の参加ありがとう！

交流・ふれあい「見聞学」

全国各地より2943名の登録をいただきました。まずもって本当にありがとうございました。津の大会で3100名を越える登録でしたが、バブル経済はじけた1994年の経済状況にしては、たくさんの方々に長崎まで来ていただいたと思えば満足しております。

登録数よりも登録してくれた単会が302あり、商青連加盟の81%はこの大会に参加するようになったことが、商青連の活動が少し

ぶつでも全国的に広がっている証ではないでしょうか。ただ、主管をいたした立場からして、一つ残念なことは参加・不参加の意思表示がなかった単会がかなりあったことです。

全国大会の主管をするにあたり以下の3点を注意して開催しましたが、おおむね上手く表現できたと自負しております。

1つ目は、1994年という時代背景を充分認識したいということでした。キ

ヤラバン活動・準備期間を省くこと、大会当日でも、いろんな「ムラ・ムダ」を省くことを心がけました。青年らしく過去の慣例や華美さにとらわれず合理化・簡素化できるところはしたつもりです。

2つめは、開催地として長崎らしさを充分アピールできないかということ。懇親会における和・華・蘭の料理や、武典のプロログでの平和メッセージなど、また、もてなしの心を表現したナイトマップやナイト

インフォメーションなどは、長崎らしさをアピールすることができたと自負しております。3つめは、主催者と主管の立場を明確にしようということでした。この点も主催者・全国商工会議所青年部連合会会長の意向する全国大会が表現できたものと信じております。しかし、細かい点でいろいろ皆さんに御迷惑をかけた点があったように思います。十分に反省材料として大宮さんに申し伝えたいと思います。

全国の皆さんの御参加の御礼をさせていただきます、大会の報告とさせていただきます。(大会会長・松田祥吾)

第14回 商工会議所青年部全国大会・長崎大会



義援金申し込み状況

(平成7年2月15日現在)

「三陸はるか沖地震」「阪神・淡路島大震災」における日本商工会議所、全国商工会議所婦人会連合会、全国商工会議所青年部連合会の義援金総額は

137,766,254円

となりました。ご協力ありがとうございました。

義援金贈呈先及び金額は下記の通りです(1億4000万円の見込み)。

- 神戸商工会議所(1億円)
- 八戸商工会議所、西宮商工会議所(各1,000万円)
- 尼崎商工会議所(500万円)
- 豊中商工会議所、明石商工会議所、伊丹商工会議所、洲本商工会議所(各400万円)

阪神大震災救援対策室を設置

今回の「阪神・淡路大震災」では、兵庫県を中心に大きな被害がでました。

京都で開かれた中央研修会でもこの問題が取り上げられました。今後、長期にわたる復興支援が必要なことから、兵庫県連では加古川商工会議所に全国のYEGからの問い合わせ、情報交換の窓口を設置しました。

支援のお問い合わせは—

●兵庫県商工会議所青年部連合会

「阪神大震災救援対策室」
(WE LOVE KOBE救援対策室)

〒675 加古川市加古川町溝ノ口527-5
加古川商工会議所青年部(担当/大松)
電話 0794-24-3355

「歴史を勉強し、若さを生かせ」

稲葉興作・日商会議所、商青連役員と懇談

稲葉日商会議所青年部への期待を大いに語った。日本経済が本格的な不況脱出の糸口すら見えず、構造転換を迫られるなか、これからの青年経済人が、いかにあるべきか、いかに行動すべきかを、東商特別会議室は熱気に包まれました。

稲葉会頭の就任後初めての懇談会が開かれたのは、昨年10月21日。商青連側から出席したのは佐藤善三郎会長以下約40名でした。

はじめに、佐藤会長から「私たちは、この日をどれだけ楽しみに待ったことか知れません」と稲葉会頭へのお礼が述べられ、商青連の現状についての説明がありました。

これに対して、稲葉会頭からは「青年部のメンバーと親しくお話しができる機会を得て喜んでいますが、今日は時間もあまりありませんが、皆さんの話したい」とごあいさつがありました。

竹内豊副会長からは、内外価格差、産業の空洞化、対アジアとの経済関係のあり方などについての質問がありました。

これについて、稲葉会頭は「大きな問題だ。人件費など製造コストが高くなり、日本の企業はほとんど海外に出て行く。アジア地域では(日本企業に)200万人の雇用者がいる。日

組織であるタテ、ヨコのネットワークを活用してほしい。②若さを大いに活かしてほしい。③日本は戦後の荒廃から立ち上がり、今日の繁栄を築いたが、そういった歴史や過去についてしっかりと勉強してほしい」と要望されました。

特に、中小企業が生き残るには、「アメリカのようにベンチャー企業が活発になるよう、規制を撤廃する必要がある。資金調達の方法も遅れている」といった制度変革の必要性を指摘した。また、「部下に大切なものを磨く、そして良いパートナーを見つけないと、人材育成の問題が大きい。他人が真似のできない技術を



磨き、システムを開発することだ」と、自助努力を抜くには語れないことを強調しました。

最後にわが国では「明治から変わらない行政形態が続いているが、日本全体を一つの有機体として運営すればいいと思う。そういう

ことで、商工会議所は道州制を提案し、議論もしている。事業連携について、一番大事なものは情報だと思

静岡YEEGに最優秀賞 平成6年度会報コンクール

商青連の加入全単会を対象にした「平成6年度商工会議所青年部会報コンクール」が行われ、2月の会員総会の席上、入賞作品の表彰がありました。

今年度の応募は78点。昨年9月末に締め切られたあと、学識経験者を受けた審査が行われました。

その結果、最優秀賞には静岡YEEGの「VOICE」が選ばれました。同誌は創刊号ながら企画力、レイアウト、記事の内容が抜群に優れており、高い評価

を得ました。また、その他の入賞作品も青年部らしい工夫が盛り込まれ、いずれも秀作ばかり。

会報コンクールは今年度で4回目を迎えましたが、年々レベルが高くなっています。会員相互のコミュニケーションの場としての活動の内容を紹介している内容がほとんどですが、地域で定期的に配布されているものもあります。

賞	青年部名(県名)	会報名
最優秀賞	静岡(静岡)	VOICE
優秀賞	鹿児島(鹿児島)	おーい
	徳島(徳島)	RANPOO(藍風)
アイデア賞	佐世保(長崎)	しとつと?
ユニーク賞	川口(埼玉)	imnovation
	足利(栃木)	A-YEG
努力賞	帯広(北海道)	Q2
	奈良(奈良)	なら太鼓
特別賞	浜松(静岡)	The next
	鈴鹿(三重)	CHALLENGER

積極果敢にチャレンジ! 商青連全国会報コンクール最優秀賞を受賞して 静岡商工会議所青年部



このたび、商青連の全国会報コンクールで最優秀賞を受賞いたしましたことは、身に余る栄誉であり、心からお礼申し上げます。

さて、当青年部ではこれまで会報を発行していませんでしたが、平成7年度に『第15回青年部関東ブロック大会』を主管することが内定しており、この機会に青年部の対外PRとメンバーの意識高揚を図ることを目的に、会報の発刊を本年度事業計画に掲げました。

具体的には広報渉外委員会(※委員長は会報の表紙になっている岩崎信夫君)が中心となって誌面づくりを行い、①会員相互のコミュニケーションを図ると同時に青年部への理解を深めるもの、②会報ができる限り参加できる誌面内容にする、③静岡の知性とセンス、行動力を全国にPRできる

もの等を課題に取り組みました。

特集記事の「YEEGのアイデンティティを探る」は、JCをはじめ類似団体が多い中で、静岡YEEGの行動理念を改めて考え、若い企画で、法人会、青年部・JCとの座談会、会員イメージ調査、YEEG宣言の解説という3部構成。会員の多くが重複して他団体にも所属していることから、様々な団体の調整役を果たしながら企業の発展を原点として、地域社会の活性化に積極果敢にチャレンジしていくと結論づけました。

委員会メンバーの知恵と汗の結晶が、今回最優秀賞という文字通り最高の形で報われ、今後の大きな励みと当にありがとうございました。

(会長 大石賢一)

特集 全国各地の青年部活動レポート

"明日への創造 地域に挑むYEG"

異業種・同業種交流そして地域連携軸...交流こそYEGの原点。ネットワークづくりが、若き企業家集団であるYEGの課題です。変革の時代を、それぞれの地域で奮闘する青年部は、たくましく切り開こうとしています。北から南から寄せられた青年部レポートです。

Jリーグの夏季合宿を恵庭に 恵庭商工会議所青年部 北海道ブロック

現在、当青年部では、恵庭市の恵まれた立地条件を活かし、Jリーグの夏季合宿の誘致に向け、運動を展開しております。このためには、芝生のグラウンドが最低2面必要とされていますが、当市には1面もないのが現状です。効果的に利用出来る多目的広場を建設すると共に近隣市町と連携を計り道中圏をJリーグの合宿のメッカに...

F-1通じ「出会いふれあい」 鈴鹿商工会議所青年部 東海ブロック

若者の街、鈴鹿。その代表とも言える「F1A F-1」世界選手権の日本グランプリレースが鈴鹿サーキットで開催されています。このビッグイベントに合わせて当青年部では、サーキット周辺や周辺の主要幹線道路、駅などにウェルカム看板を掲げて各所の人々を歓迎する予定です。...

「商工まつり」の中核的存在 和泉商工会議所青年部 近畿ブロック

当青年部は、昭和53年7月和泉市商工会青年部として発足し、平成6年4月商工会議所移行に伴い、和泉商工会議所青年部として新たにスタートしました。現在の会員数は80名で組織・総務・研修・事業の4委員会から構成されています。主な事業としては経営に関する研修会の開催をはじめ、地域振興事業、福祉推進事業等数多くの事業を実施しております。...

つがる産業博'94"を終えて 弘前商工会議所青年部 東北ブロック

津軽で行う産業博を提案して4年目を迎えます。市、商工会議所、農協を主体とした協議会も全体の流れがスムーズになってきました。今年度は「明日への創造」をメインテーマに近隣市町村の横軸ネットワークの構築に向けて、我が青年部特別委員会が昨年4月より走り回りました。その結果、県内より26町村の参加が今までにない快挙であったといえます。...

「大名行列」を復活 柳井商工会議所青年部 中国ブロック

昭和63年3月商工会議所8番目の息子(部会)として、青年部は誕生致しました。我々青年部のモットーは、何事も「まあやってみるか、結果はその後」と、一見いかげんなような、トライ精神です。そんな我々の主な活動は次の通りです。①柳井天神春祭り・大名行列の実施。古くより行われていた大名行列が、種々な理由で3年間中断していましたが、平成5年に青年部が復活させ、今後も継続して行く。...

10周年で、市民にふるまい鍋 今治商工会議所青年部 四国ブロック

今治商工会議所青年部創立10周年記念事業・式典・懇親会を11月5日に開催しました。記念事業は、本町1丁目商店街で、米島の海の幸をふんだんに盛り込んだ米島水軍鍋2千人分を市民にふるまいました。会場には直径1.5メートル、高さ1.3メートルの大釜を据え、タイ110匹、クルマエビ2千匹をはじめ、厚揚げ、サトイモなどを、今治郷土料理普及協議会の協力により調理しました。...

好評! 市民に開かれた講演会 五泉商工会議所青年部 北陸信越ブロック

当青年部では、設立以来活動目標にもあるように、青年経済人としての自己啓発と、自己修練をはかることと、地域の人々に青年部活動のPRをかねて中央の著名講師を招き公開講演会を開催しています。過去には、野村克也氏、無着成恭氏、新堀俊明氏、笹沢左保氏等を招き、部会員はもとより多くの市民から聴講していただき好評を博しています。...

出逢う喜びを再発見! 鹿児島商工会議所青年部 九州ブロック

こんにちは、みなさん鹿児島県の青年部の私たち、経営情報委員会は「経営」の出会いの場をつくってゆきたいと思っております。このご縁が、一生のおつきあいに繋がれば最高!



情報の流れをより適格に

道府県連活動状況調査より

本年度、商青連総務委員
会では、道府県連(以下、
県連と呼びせていただきま
す)の実態調査を行った。
単会から県連・ブロック
東西中日本・商青連とい
情報・行動の流れがあるが、
要となるのは県連であり、
県連に集約し、県連から分
散する組織運営が自由自在
にてぎなければ、迅速な動

きはとれない。
例えば、400単会99
への連絡を一人のプロック
長が毎回できるはずがない
今回の調査書類から皆さん
に読みとってほしいのは、
第1に県連の窓口を一本化
し、明確に示して戴きたい
ことです。各県からの商青
連出向理事・県連会長・県

連事務局、それぞれの情報
認識を統一化していただき
な、誰に聞いていいの
か、伝えていいのかわから
ない県連になってしま
う。調査書を見てもらえば分
かるように、県連事務局の設
置場所選定方法を考えても
構なです。

次に理解戴きたいのは、
県内各単会の行事予定と、
商青連の行事予定を熟知し
た上で、県連総会・会長会
議・協議会等のスケジュール
タイムリーに組み立てる必
要があることです。県連の年
間行事説明・中央研修・全
大会・ブロック大会への出席
確認等、時期を間違えなく
スムーズな流れにならない
私自信が、本年度の高知県
連会長を兼務していることか
ら、他県連の会則や活動状
況を知り、改善すべきところ

を知りたいという気持ちから、
この調査に着手いたしました。
もう一方の側面から見た
的としては、求年度から始
まる商青連の組織改定に伴
4人の副会長と、9人のプロ
ック長に各県連の実情を把
握してもらい、活動の美点を
として、地域にあった計画を突
行してもらいたいです。

調査結果から見ると、予
算規模で最大240倍の差
があること、出向者の補助
金にゼロから100万円ま
らの助成金の有無など大き
なバラツキが見られる。
県連の状況に応じて現状
があるわけだから、批判的
な気も無いが、今後この
県連に近づく運営をする事
が良いかを掴みとって
らいたい。
個々に説明すると、最初

に調査の途上で総務委員各
位が感じとった事を書き、
次に全県連の収支予算の比
較を載せ、会則・予算・役員
会・事業・レクレーション等
に、活発と思われる県連の
例を列挙し、最後に生デ
ター比較表でまとめた。
総務委員会のメンバーは、副
委員長に長崎県連会長松田
祥吾君、委員に山形YEG
新関芳則君、沼津YEG山
口憲三君、鯖江YEG永杉
宏之君、中津YEG東納英
一君、勝田YEG小松義昭
君、特に時間のかかる生デ
ターを担当してくれた相
YEGの市村日出夫君をし
て、私高知YEG竹内豊の
8名です。

委員長の私が黙っている
間、正副会長会議で抜けて
いる間に、委員会メンバー
が二転三転の論議を繰り返
し、報告書が完成いたしま
した。委員会メンバーに感
謝し、この報告書が県連活
性化の一助となりますよう
に祈念しつつ筆を置かせて
戴きます。
(総務委員長 竹内豊)



を知らなければ、迅速な動
きにはとれない。
例えば、400単会99
への連絡を一人のプロック
長が毎回できるはずがない
今回の調査書類から皆さん
に読みとってほしいのは、
第1に県連の窓口を一本化
し、明確に示して戴きたい
ことです。各県からの商青
連出向理事・県連会長・県

を知りたいという気持ちから、
この調査に着手いたしました。
もう一方の側面から見た
的としては、求年度から始
まる商青連の組織改定に伴
4人の副会長と、9人のプロ
ック長に各県連の実情を把
握してもらい、活動の美点を
として、地域にあった計画を突
行してもらいたいです。

調査結果から見ると、予
算規模で最大240倍の差
があること、出向者の補助
金にゼロから100万円ま
らの助成金の有無など大き
なバラツキが見られる。
県連の状況に応じて現状
があるわけだから、批判的
な気も無いが、今後この
県連に近づく運営をする事
が良いかを掴みとって
らいたい。
個々に説明すると、最初

に調査の途上で総務委員各
位が感じとった事を書き、
次に全県連の収支予算の比
較を載せ、会則・予算・役員
会・事業・レクレーション等
に、活発と思われる県連の
例を列挙し、最後に生デ
ター比較表でまとめた。
総務委員会のメンバーは、副
委員長に長崎県連会長松田
祥吾君、委員に山形YEG
新関芳則君、沼津YEG山
口憲三君、鯖江YEG永杉
宏之君、中津YEG東納英
一君、勝田YEG小松義昭
君、特に時間のかかる生デ
ターを担当してくれた相
YEGの市村日出夫君をし
て、私高知YEG竹内豊の
8名です。

委員長の私が黙っている
間、正副会長会議で抜けて
いる間に、委員会メンバー
が二転三転の論議を繰り返
し、報告書が完成いたしま
した。委員会メンバーに感
謝し、この報告書が県連活
性化の一助となりますよう
に祈念しつつ筆を置かせて
戴きます。
(総務委員長 竹内豊)

三陸はるか沖地震 兵庫県南部地震

災害義援金についてのご報告

全国商工会議所青年部連合会
会長 佐藤 善三郎

昨年末の「三陸はるか沖地震」、さらに1月17日早朝の「兵庫県南部地震」は、甚大な被害をもたらす大惨事となりました。被災地の皆様には心からお見舞いを申し上げます。

このようななかで、日本商工会議所では、国に災害復旧の緊急要望書を提出し、全国の商工会議所を対象に義援金募金の呼びかけを決定しました。

商青連では、さっそく被災地商工会議所青年部に、お見舞いと激励文を送り、できる限りの支援を約束しました。

さらに、各地の青年部に、災害義援金の協力を依頼、日商、全国商工会議所婦人会連合会ともども全力をあげての支援態勢を取りました。

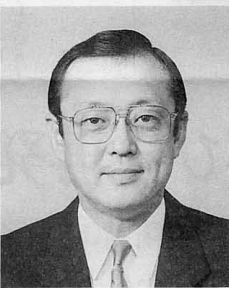
2月20日に義援金の取りまとめを行いました。災害復旧には、まだまだ長期にわたる取り組みが必要です。全国各地のYEGでは、それぞれ独自の救援活動を展開していただいておりますが、今後とも商青連として、可能な限り支援態勢をとってまいりたいと考えていますので、一層のご協力をお願いいたします。

なを、今回の義援金募金に多大のご協力を賜りましたことにたいして、本紙上をお借りして心よりのお礼を申し上げ、取り急ぎご報告といたします。

ありがとうございました。

●商青連に寄せられた 災害義援金は

20,461,870円です(2月20日現在)



魅力ある組織 (商青連)へ

組織強化委員長

小泉 光一郎

社会には数多くの組織があり、国家、商青連、会社やサッカーチーム、人間そのものも細胞の高度に結合した組織といえます。それらすべてが常に組織強化を計り活動しています。崩れる組織も多々あり、むしろいつか必ず崩壊するの組織ともいえます。

組織の寿命は何年か定かではないが、商青連はまだ12年、組織としてはまだ子供の段階で、勉強も、体質も強化し成長してゆかねばならない時期といえます。各方面からも、まだ期待されて、よく育つ、成長が止まるか、未知の可能性があるからであり、大切な時期です。

次年度は組織改革が行われ、組織強化委員会が無くなりました。最後の委員長となつた私は、組織強化は永遠の課題と考え、専門委員会として消滅する事に一抹の不安を覚えています。

翔生 Communication PLAZA

新設！ビジネス交流プラザ

こんな情報を伝えたい・聞きたい

このページは、会員の皆様の情報交流の場として設けられたものです。

昨年に開かれた長崎での全国大会でビジネス交流プラザは、多くの参加をいただきました。

そこで、今後は「翔生」の紙面を会員の皆様に提供し、全国のネットワークをそれぞれの企業活動に大いに活用してもらおうということになりました。

新製品紹介、販売代理店の募集などの営業活動や企業PR、また異業種、同業

種の交流にどんなに利用ください。

●掲載申込方法

原則として官製はがきにて「新製品紹介」「販売代理店募集」「企業PR」を明記のうえ②「活動」を明記のうえ③「商品名(または会社名、団体名)」「③セールスポイント(メッセージ)」「④連絡先(住所、氏名(会社名、TEL)」「⑤青年部単会名、氏名」を記入してお送りください。

●送先

〒1100 東京都千代田区丸の内3-2-12、日本商工会議所中小企業振興部内、全国商工会議所青年部連合会「広報委員会」宛。平成7年8月31日

●おこたわり
本号で掲載いたしましたのは、昨年のビジネス交流プラザの情報をまとめている。連絡、資料請求等については、直接、当事者同士で行ってください。
(商青連・広報委員会)

☆新商品

商品名	要 項	連絡先	住 所	電話番号
手延式半生うどん	富士の伏流水と最高級小麦を使用 新製法による手延を越えたうまさ	(株)アイメン	沼津市新沢田町9-5	0559-22-2045
イーエス製 パーキング装置	業界一の駐車場システム紹介	(株)澤山商会	長崎市出島町3-10	0958-23-1221

☆販売代理店募集

商品名	要 項	連絡先	住 所	電話番号
シャキット君	北国あきたのテクノ企業	(株)エムアンドエム	秋田市大町2-7-34	0188-62-9267
人情屋台	人情屋台支部加盟店募集	(株)人情酒販	大宮市天沼町1-523-1	048-645-0365
ルーポボックス	世界初のシステムアップできるルーポボックス	ソフトブレイン工業(株)	浜松市馬郡町3762-22	053-449-3111
医療機器アルファ ワークスキューブ	目と頭を爽快にする健康器	(有)タイケイ教育	大阪府和泉市尾井町1067-325	0725-46-1696
カタログ販売	異色のカタログ販売で人気上昇中	STネットワーク新宮販社	新宮市緑が丘2-3-6	0735-23-1248
食品	海産物等の仕入れ先求む	(株)カネカ	岡山県津山市小原285-4	0868-24-0050
コーヒー	自家焙煎コーヒーの宅配販売求む	(有)アムル	岡山県津山市伏見町1322	0868-24-3591
小型気功器	世界初小型気功器	(株)明伸	高松市新田町甲814-11	0878-43-8301
かつおたたき (宅配)	日本一絶たきとズ入りたれ 東北、北海道地区販売求む	士佐料理司	高知市帯屋町1-7-15	0888-23-1288
シーカー輸入雑貨 代理店募集		尚ヒコローポーション	諫早市八天町3-14	0957-22-0390
殺菌、脱臭装置	オゾンによる殺菌脱臭装置	(株)海研	長崎市磯道町819-11	0958-79-1212
ちいす焼	FC加盟店募集	Kフーズ	別府市北浜1丁目5-8	0977-21-0310
レーザーポインタ	ミニ洋酒樽販売店募集	(有)バーボン	大分県津久見市新町9-3	0972-82-9291
かるかん、あくまき	かるかんー純粋自然薯使用 全国各地販売店求む	浦島屋	枕崎市西鹿籠12640	0993-72-0547

☆企業PR

商品名	要 項	連絡先	住 所	電話番号
和洋菓子	青森県特産のりんごのお菓子 みちのくの味を伝えます	(株)ラグノオささき	弘前市百石町9	0172-35-0353
漬物	創業百年伝統の味をみちのくから	ハコショウ食品工業(株)	花巻市湯川字洗沢21	0198-25-2229
菓子	塩麴桜の風雅を移した銘菓	丹六園	宮城県塩竈市宮町3-12	022-362-0376
新潟コヒカリの カタログ販売	コメ王国新潟から全国へ発送	紋屋商店	新潟県五泉市吉沢2-2-3	0250-42-2340
音楽製作企画	CD・LOM企画制作 (音楽から画像まで)	(株)日本録音企画	埼玉県浦和市岸町3-9-2地産ビル	048-833-0456
刃物の産品	家庭用刃物、機械用特殊小型刃物 刃物でお困りの方はご相談下さい	長谷川刃物(株)	岐阜県関市肥田瀬3664-2	0575-22-1511
菓子	富山湾だけのしるえびのかき餅 富山湾の味覚ご案内します	(株)米田	新湊市松木385	0766-84-2481
水産加工品	瀬戸内のエビだけのせんべい 伝統技法によりすべて手作り	(有)満久屋	観音寺市観音寺町甲2829-2	0875-25-3579
醤油	百年の味をお楽しみ下さい	広瀬醤油(株)	高松市一宮町1819-3	0878-85-1767



同業種交流を考える

(商青連研修委員長・小谷寛)

同業者は同じ商圏の中にあっては商売敵として激烈な競争の真っ只中にあるが、遠くにある、よき情報源であり有難い仲間である。商青連に所属する会員のネットワークとして同業種の交流を推進したいと考えています。

もちろん同業種交流は、それぞれの業界で活発に行われてはいます。しかも、それぞれの業界に青年部があります。なぜ商青連で同業種交流が必要なのだろうか。既存の同業種交流が、現在の業種のみを対象としているのに対して、我々の考える同業種交流は、多角化のため、新規分野に参入を希望する者にもカギ戸を開放しようと考えています。商青連の同業種交流によって、その地域になかった産業が起ることも期待されます。同業種交流の推進が地域に貢献する青年部(単会)により、確かなネットワークをもちます。

が、事業計画の最初に、商青連加入のメリットを打ち出したことは、YEGの活動の原点を確認できたと思えます。

やはりYEGは、経済と結び、経済の発展を促す活動が大切である。その手段の一つが全国大会でのビジネス交流プラザの設置であったと思います。

全国のYEGの協力により、100を越えるブリスができて、ビジネスの交流が行われました。有意義な結果が得られ、参加者および長崎YEGに感謝を申し上げます。

今後、より以上に本音でビジネスの交流ができる場の提供を商青連として取り組みたいと思います。

いま人口減少、円高等の問題で商店街の地盤沈下や空洞化など経営環境は厳しい状態にあります。こうした時こそYEGの情報ネットワークを活かせる場の提供が商青連の役割と考えます。

活かせ 全国ネットワーク

(商青連特別委員長・賢木新悦)

YEGがどうゆう団体ですか?と問われれば、自社企業と地域の繁栄のために行動する。若き企業家集団である、と答えます。

今年度、佐藤善三郎会長

『直接交流・直接実感・彩の国』

集えば多士彩々

平成7年度全国大会は大宮市で

平成7年度「第15回商工会議所青年部全国大会」は首都圏での初めての大会として、埼玉県商工会議所青年部連合会主管のもと、大宮市において開催させていただきます。

大東京を有する関東平野のほぼ真中に位置する埼玉県は、人口673万人、首都東京の隣接県として人口が急増し、現在42市と全国一であります。そして、その商都として栄え、「緑の経

済都市」としてめざましく発展しているのが開催地の大宮市であります。大宮という地名は、武蔵国一の宮・水川神社を「大いなる宮居」とあがめたことにより、古社・水川の門前町として、江戸時代には中仙道の宿場町として整備され、江戸と京都を結ぶ交通の要衝として繁栄を続けてきました。

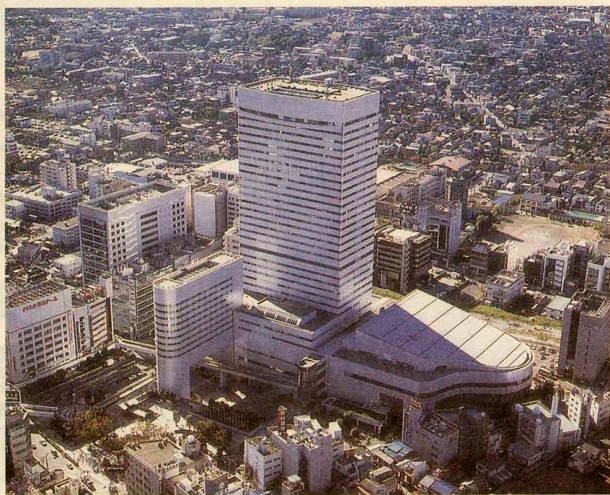
近代になり、鉄道の分岐点の重要な町として位置づけられ、東北・上越新幹線の始発駅となったことはまだ記憶に新しいことと思えます。その後、新幹線は上野、東京へとつながりましたが、業務核都市としてまた、政令指定都市へと、「夢ひろが

るまち大宮」を目指して、今、着実に歩んでおります。この度、全国大会を主管させて頂く埼玉県商工会議所青年部連合会(埼玉連)は、平成元年10月21日に7青年

部で発足し、現在16商工会議所中14の青年部が設立され100%を目標に努力を致しており、会員数は千四百名にのびんとしております。県連発足前からの永年のこの開催を実現出来ることをこの上なく喜んでおります。でありますが、創意と工夫をモットーとして、首都圏で初の大会に相応しい感動のある大会を目指しております。

また、埼玉県は、平成4年11月14日(県民の日)に、埼玉県の魅力や個性を県内外にアピールするために、四季折々の色彩豊かな自然に恵まれ、産業・文化・学術などで発展する、多様な国・埼玉県を目指し、県の愛称を「彩の国」と致しました。

その「彩の国」をとりいれ、第15回全国大会のキャッチフレーズを「直接交流 直接実感 彩の国 集えば多士彩々」とし、全国の約3万人に及ぶメンバーの生き生きとした個性を直接ぶつけあい、感じ合える高感度の大会としたいと考えております。



第15回商工会議所青年部全国大会が開かれる埼玉県大宮市。

「明日への創造 地域に挑むYEG」のスローガンのもと、全国各地を訪問させて頂いてきましたが、各地でYEGの仲間が活発に活動されている姿を拝見し力強く感じるとともに、多くの出会いによる友情を得た喜びを感じております。この一年を振り返りますと、国の内外を問わず政治、経済共に混沌とし、それに自然界までもが追い討ちをかけた一年でありました。



「一年を振り返って」

平成六年度会長 佐藤 善三郎

政治においては政界再編成、短期間での政権交代など新しいシステム、新しい秩序を構築しております。一部においては回復しつつあると言われるものの、いまだに出口からの光明を見出せない状態が続いている経済界においても新しいシステムが求められております。

このような背景を踏まえ、地域において創造性を発揮しよう、行動を起こしていきましょう。

こうと全国各地の皆様と話をさせて頂いてまいりました。また、県連、ブロック、商青連という組織を各地単会、会員の皆様により身近に活用していただくにはどうすればよいか、全国ネットである商青連の繋がりと情報地域や企業に有意義なものとなるよう活動を進めたいと思いましたが、それなりの成果はあったと思っております。今後とも充実したいかなければならないと感じております。

「一昨年12月、浜松のカリアックで行われた第一回全国度役員研修会以来、15か月間共に汗を流し支えていただいた副会長、専務、役員、日本商工会議所事務局の皆様への熱き友情とご協力に感謝を申し上げます。今後共皆様のますますのご活躍を期待しております。一年間本当にありがとうございました。

今年、「翔生」の発行に携わることができ、同委員会の仲間、商青連のメンバーにご協力頂けたことを心よりお礼申し上げます。

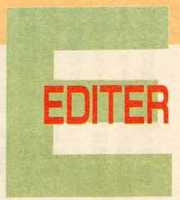
佐藤 允男(徳島)



大会会長 大村 晴利

1995年.11月16日(木)~17日(金)

- 主催/全国商工会議所青年部連合会・日本商工会議所
- 主管/埼玉県商工会議所青年部連合会
- 開催地青年部/大宮商工会議所青年部



皆様のお陰を持ちまして、どうかご重責を果たすことができました。今後は貴重な経験を有効に活かして行きたいと思っております。

宮 正弘(恵庭)

商青連に2年間出向、本当に多くの仲間との出会いがありました。平成8年の全国大会開催地・奈良でお目にかかりましょう。

本出良一(奈良)

阪神大震災にお見舞い申し上げます。広報委員会の活動を通じて、情報を伝える難しさを痛感致しました。商青連の役員の皆様ご協力ありがとうございました。

吉田順一(古川)

商青連へ出向して1年。全国の皆様に「翔生」をお届けすることができました。多くの感動をありがとうございました。

西場伸一(桐生)

この世紀を睥睨すると富国強兵、富民強産と続き、次代は富地強已と思われ、だからこそ情報伝達、媒体の重要性を実感致します。

時田芳文(熊谷)

皆に読まれる「翔生」を目指したが、なかなか難しい。委員会のメンバーが1年ごとの交代では限界がある。

佐貫公一(出雲)